

「介護をめぐる悲嘆にどう寄り添うか」 ～家族支援の視点から考える～

利用者、そして家族が、何かを失い、悲しむ姿を目の当たりにしたことはありませんか。
このとき、介護職員であるあなたは、どのようなことができるでしょうか。

利用者本人の「これまで自分でできていたことが、できなくなった…」、家族の「覚えていてほしい大切な思い出を本人が忘れてしまっている…」といった悲しみや喪失感を抱いている場面に出会うことはありませんか。

介護をめぐる現場では、介護される側・する側も、死や死別だけでなく、自分たちの思いどおりにならないゆえに、「悲嘆・喪失感」を経験してしまうこともあり、介護職員にとっては、介護技術を磨くスキルを身につけるだけでは補えない、利用者、家族の思いや考え方にどう寄り添うかといった、非常に難しい支援が求められます。

この研修では、「悲嘆、喪失感」経験をした人々へ寄り添うことの意義について考え、利用者だけでなくその家族をどのように捉え、どう支援していくかについて焦点をあて学びます。

平成28年2月10日(水) 午後2時～4時30分

- ◇講師 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 助教 森口弘美
- ◇会場 大阪市社会福祉研修・情報センター4階 会議室
- ◇対象者 大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員
- ◇定員 60人(申込多数の場合は抽選)
- ◇受講料 1,500円
- ◇申込方法 FAXまたはホームページから申込

<http://www.wel-osaka.jp/>

- ◇申込締切 平成28年1月24日(日) 午後5時
- ◇受講決定 1月下旬に、各事業所あて郵送します
通知が届かない場合は2月1日までにお問合せください

◇主催・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
TEL (06) 4392-8201 FAX (06) 4392-8272

(交通のご案内) ●市バス「長橋2丁目」バス停すぐ
●JR環状線・大和路線「今宮」駅(西出口)から徒歩10分
●地下鉄四つ橋線「花園町」駅(2号出口)から徒歩15分

受講者同士のグループディスカッションによる演習、情報交換も予定しています!

FAX 06-4392-8272 <介護職員研修 介護職援助の基本編 申込書>

事業所名					
種別	右の番号	①高齢者福祉関係	②障がい者福祉関係	③保育・児童福祉関係	④生活保護施設 ⑤その他()
事業所連絡先	〒	住所		電話	FAX
参加希望者	ふりがな	介護実務経験年数	年	年齢	歳
		職種			
所持資格	介護福祉士・初任者研修修了・実務者研修修了・ヘルパー1級研修修了・ヘルパー2級研修修了・介護職員基礎研修修了・看護師・その他()				
雇用形態	常勤・非常勤・パート・その他()				
備考欄	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などが必要な方は、その旨ご記入ください。				<input type="checkbox"/> 割引クーポン利用希望
					NO.

*「キャリアデザインノート」(1冊600円で販売中)の「受講料500円割引券」をご利用の方は、申込時にご記入ください。

◆提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません。